

大阪経済記者クラブ会員各位
(同時配布先：大阪市政記者クラブ)

実証事業推進チーム大阪が支援 「都市型自動運転船「海床(うみどこ)ロボット」による 都市の水辺のイノベーションに関する実証実験」について

[お問合せ]大阪商工会議所 産業部(門、瀧本、西田)
TEL:06-6944-6300

- 大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成する「実証事業推進チーム大阪」は、株式会社竹中工務店(以下、「竹中工務店」)を代表法人とする海床ロボットコンソーシアムと特定非営利活動法人大阪水上安全協会(以下、「大阪水上安全協会」)が共同で実施する**都市型自動運転船「海床(うみどこ)ロボット」による都市の水辺のイノベーションに関する実証実験(3回目)を支援**する。
- 今回の実証実験は、2023年12月6日(水)から7日(木)に大阪城公園の東外堀で実施する。
- 2021年度、2022年度に引き続き3回目の実施となる今回は、海床ロボットの運航を共同実験者である大阪水上安全協会に委託し、被験者を乗船させることで、**船舶事業として成立させるために必要な要件、課題を抽出することを目的**とする。

■ 実証実験の概要

「海床ロボット」は、純国産制御システムを搭載しており、海や運河・河川並びに湖沼などの水面に浮かべた床(3m四方)が自動で動き、離着岸する自動運転船です。3回目となる今回の実証実験では、**「海床ロボットの搬入、運行、搬出のプロセスにおけるリスクアセスメント」「被験者へのアンケートを通じた事業性、収益性」**について検証するだけでなく、船舶事業者を会員に持つ大阪水上安全協会に海床ロボットの運行業務を委託し、被験者を乗船させることで、**船舶事業者の観点から「安全性・操作性」を確認**する。

■ 今後の展望

これまでの実証実験で得た結果をもとに、海床ロボットを水辺で利活用し、観光事業として社会実装できるよう整備を進める。また、海床ロボットコンソーシアムでは、2025年大阪・関西万博会期中に会場外プログラムとして大阪市内の水辺を活用した、海床ロボットの乗船サービスの提供をめざす。



海床ロボット5号機(提供:竹中工務店)

■ 海床ロボットコンソーシアムについて

「海床ロボット」は、竹中工務店を代表法人とし、同社を含む8社・法人（国立大学法人東京海洋大学海洋工学部清水研究室、株式会社 IHI、炎重工株式会社、株式会社水辺総研、新木場海床プロジェクト、一般社団法人ウォーター・スマート・レジリエンス研究協会、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）で構成する海床ロボットコンソーシアムによる共同プロジェクトとして開発されたもの。

■ 実証事業推進チームについて

大阪府、大阪市、大阪商工会議所は、「未来社会の実験場」をコンセプトとする2025年大阪・関西万博を見据えて、革新的な実証実験を行いやすい環境を整え、大阪で新しいビジネスを生み出す好循環を創り出し、「実証事業都市・大阪」を実現するため、「実証事業推進チーム大阪」を設置している。

<開催概要>

- 日 時 2023年12月6日（水）～7日（木）
- 場 所 大阪城公園 東外堀
- 実施主体 株式会社竹中工務店（海床ロボットコンソーシアム）
- 共同実験者 特定非営利活動法人大阪水上安全協会

以 上